北海道倶楽部
毎月１回１日発行 定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこと いっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

盛大に新年交礼会 倶楽部

大久保理事長「100周年寄付に協力を」

北海道倶楽部の新年交礼会が1月30日夜、東京・千代田区のホテルニューオータニで開かれた。あいさつに立った大久保尚武理事長は「倶楽部は来年創設100周年を迎える。寄付を募るので協力を」などと呼びかけた。



新年交礼会には会員を中心に約70人が参加。川村隆会長は体調を考慮して欠席したが、会員増などを訴えるビデオメッセージを寄せた。

大久保理事長は「内外とも激動の中で年が明けた。世界情勢が荒れる中で、日本は総選挙が行われる。今後どうなるのか」と強調した。

＝写真上。2027年の100周年事業について「今、記念事業として何をやるのか、（評議員会などで）検討している」と述べた。

また、大久保理事長は「北海道ふるさと会連合会」との一層の連携強化も求めた。

この後、祝宴に。倶楽部理事らが壇上に上がり鈴木秀一副理事長の発声で乾杯＝写真下。会場には同ホテル自慢の料理や、道産ワインなどが用意され、参加者は舌鼓を打った。

久しぶりの再会に、各テーブルでは談笑の輪ができ、会員らは「北海道応援のために、新たな気持ちで頑張りたい」と話しながら交流を深めた。

閉会後はお土産として名寄産の餅が手渡された。



雪まつり華やかに



道都の冬を彩る「第76回さっぽろ雪まつり」が2月4日～11日、札幌・中央区の大通公園など3会場で開かれた。国内外からの観光客がどっと訪れ、雪と氷の芸術を楽しんだ。（関連記事5面）

メイン会場の大通公園では馬産地・北海道にちなんだサラブレッド（5丁目）＝写真、**北海道新聞社提供**＝や、創基150周年を迎える北海道大学の古河講堂（7丁目）をモチーフにした大雪像も。131基の中小雪像も入場者を温かく出迎えた。

東京から初めて訪れた会社員は「大雪像の迫力がすごい。写真をたくさん撮って、北海道のグルメも楽しみたい」と感激した様子。訪日客の姿も目立ち、大雪像の前では歓声が上がった。

期間中、すすきの会場では氷像60基を展示、つどーむ会場では氷の滑り台やチューブスライダーなど体験型アトラクションが人気を集めた。

高市旋風北海道でも 道選挙区で自民11勝1敗

比例も4議席確保

2月8日投開票された衆院選は、北海道選挙区（1～12区）でも高市早苗旋風が吹き荒れ、自民党が11勝1敗と圧勝した。比例（定数8）でも4議席を確保、高市人気を裏付けた。

これに対して、立憲民主党と公明党が合流、結成した中道改革連合は低迷、選挙区での当選は10区の1議席にとどまり、かろうじて比例北海道ブロックで3議席を確保した。8区では立憲の重鎮だった逢坂誠二氏が落選した。

2024年選挙では、道選挙区は自民党の3勝9敗と敗北。高市フィーバーは元来革新色が強いとされる北海道をも包みこんだ。

3月11日に倶楽部総会

北海道倶楽部の令和7年度（2025年度）定時会員総会は、3月11日午前10時半から東京・永田町の星陵会館（倶楽部事務局が入るほか、役員改選期に当たるため、理事、監事の選任を行う。

かれる。

総会では令和8年度（2026年度）の事業計画、収支予算書などが報告されるほか、役員改選期にあたるため、理事、監事の選任を行う。

北方領土返還運動全国大会開く 「北方墓参の早期再開を」



「北方領土の日」の2月7日、令和8年北方領土返還要求全国大会が東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれた。大会では「日露両国の関係改善と、平和条約締結に向けた交渉の再開」などを求める大会アピールを満場一致で採択した。

北海道倶楽部はキャンペーンの一環として北方四島返還を訴え続けており、北方領土返還要求運動連絡協議会の構成団体になっている。倶楽部からは4人が参加した。

大会には高市早苗首相も出席。あいさつで「日露関係は依然厳しい状態が続いているが、領土返還に向け粘り強く取り組んでいきたい。とりわけ人道問題の北方墓参の早期再開の実現を、急ぎたい」などと述べた＝写真。

また、各界の代表や元島民らが返還に向け決意表明。このうち根室の高校生は「ロシアと共存できる、真の平和を求めたい」と力を込めた。

この後、大会は①北方墓参の一刻も早い再開②四島交流事業の再開③北方四島の返還は、日ロ両国の真の友好関係を築き世界平和にも寄与ーなどを内容とする、令和8年大会アピールを採択した。

式典前には「北方領土返還運動の現状と今後の役割」をテーマにパネルディスカッションも行われ、出席者が厳しい日ロ関係などを巡り意見を交わした。

知事エッセー ～根室管内で～



北海道知事の鈴木直道です。今回は、根室管内羅臼町で、羅臼昆布漁師のご夫妻が営む1日1組限定の貸切宿「seaside cottage KOBUSTAY（コブステイ）」への訪問について紹介します。

こちらの施設では、ご夫妻から旬の魚などとともに天然羅臼昆布の極上出汁が提供され、自炊で食事を楽しむことができ、また、昆布の天日干しや鮮魚市場見学など羅臼ならではの体験ができます。私は昆布の赤葉部分を切り落とすヒレ刈りを体験しました。最高級品とも言われる羅臼昆布が、一枚一枚手間暇をかけられ高い品質が守られていると、身をもって感じることができました。

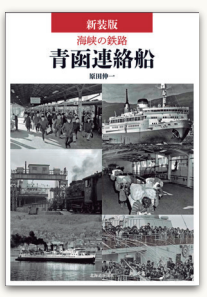
ご夫妻からは、水揚げ量だけに頼らず、漁師自らが付加価値を高め、この素晴らしい昆布を次の世代につないでいきたいとの思いを伺いました。体験を通じて漁業に関心を持つお子さんもいらっしゃるとのことです。生産者と消費者を近づけ、お互いの理解を深める貴重な場所になっていると思いました。



道としましては、日本の食文化を支える昆布をはじめ、本道水産業の多様な魅力を広く発信し、今後も漁師の皆様が安心して漁業を営むことができる環境づくりに取り組んでまいります。

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社



新装版 海峡の鉄路
青函連絡船

新装版 海峡の鉄路
青函連絡船
不朽の名作を新装版で！
原田伸一 著
B5判 232頁 定価2640円
津軽海峡を舞台に80年間の航海と、その後に展開された船と人々のドラマを、貴重な写真とともに描いた迫真のドキュメント。船旅の記憶と船員魂はなお生き続ける。



道新プラス
北海道の病院 2026

道新プラス
北海道の病院 2026
北海道新聞社 編
B5判 260頁 定価990円
道民のための病院・クリニックガイドの最新版。患者が主体的に病院、治療法を選ぶための情報が満載。特集は「首の痛みから腰痛まで―脊椎の病気を知る」ほか。

北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く） 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店 または インターネットで

ヒグマ肉、需要急増

消費者の好奇心？

駆除後に大半が廃棄されてきたヒグマ肉の需要が、このところ急速に高まっている。連日のクマ出没報道で、多くの消費者が好奇心からレストランで体験したり、買い求めていると見られ、道内には例年の2倍以上の注文が寄せられる食肉加工会社もあるという。

2022年からヒグマ肉の販売を始めた函館市の食肉加工施設。年20～30頭だった取扱量が、25年は3倍超の約100頭に達した。飲食店からの問い合わせも増え、例年の2倍に当たる約100店にヒグマ肉を卸した。

同施設は「好奇心で食べたいという人が多く、『食べてみたらおいしかった』という声をもらう」。今後は、個人向けに、もも肉のスライスや煮込み用の肉を通販で販売する計画だ。

札幌・西区のフランス料理店では、昨年11月から「ヒグマ料理」の提供を始めた。もも肉のローストやばら肉の赤ワインなどが主なメニュー。同店のシェフは「北海道にしかなく、赤身のうまみや脂の甘みを感じるおいしい肉。廃棄するのは惜しい」とその魅力を語る。

最近は、クマ肉を使った絶品料理を求めて、海外から店を訪れる客もいるほど人気が高い。

道内で25年度に駆除されたヒグマは、昨年10月末時点で963頭。市街地への出没が連日のように伝えられた。消費者や販売店のクマ肉への関心の高さには、こんな背景がある。

ただ、課題となるのが衛生管理や流通の仕組みづくりだ。エゾシカには衛生管理が適切な食肉処理施設を認証する道や国の制度があるが、ヒグマは対象外。

美唄市の食肉加工会社は「安全に処理された肉だと示せる基準や認証制度づくり、処理施設整備への財政的支援があれば、加工体制を整えやすくなる。ヒグマを廃棄せず、価値ある食材として生かせる環境をつくりたい」と話す。

道内食肉加工会社 例年の倍以上の注文も

札幌・西区のフランス料理店が提供するヒグマのもも肉のロースト（北海道新聞社提供）



ススキノの駄菓子店静かに幕

開店から百年超、スナックママらに愛されて

札幌の繁華街・ススキノのど真ん中、すすきの市場（札幌市中央区南6西4）にある駄菓子店「藤川菓子店」が1月31日、1世紀の歴史に幕を下ろした。スナックのママや飲食店経営者らに愛された「大人の街のレトロ」は、静かに姿を消した。



たくさんの商品が並んだ藤川菓子店（北海道新聞社提供）

店があったのは1階。ほかに鮮魚店や精肉店など計16店が入る。正確な資料はないものの、すすきの市場の前身、「第二公設廉売市場」の1922年（大正11年）から店を構える。札幌最古の駄菓子屋といわれ、2002年から久家亮一さん（66）が3代目店主を務めていた。

客はススキノ周辺のスナックやバーの経営者ら。店で出す珍味や菓子が良く売れた。店内には珍味を10種類ほど集めたコーナーも。ティラミスチョコレートなども取りそろえ、「昼の顔」と「夜の顔」が混在する商品構成だった。

ただ、ここ数十年で藤川菓子店を取り巻く環境は大きくかわった。05年の業界紙の調査によると、ススキノの店舗数は約4400店前後にとどまるという。

こんな中で、昨年11月、初代店主で父の亮寿さんが死去、老舗企業の製造中止で菓子の種類が減ったこともあり、閉店を決めた。亮一さんは「20年以上この店に立てて、もう十分」としみじみ話す。

同じすすきの市場に入るスナックのママは、藤川菓子店と50年来の付き合いだ。イカの燻製や好物のねじりあめをよく買った。「歴史ある店がなくなるのは、先代から知っているだけに寂しい。上の階に店があるだけで温かい気持ちになれた」と涙をにじませた。

新千歳で航空国際会議

HAPが誘致に成功

新千歳空港を運営する北海道エアポート（HAP、千歳）が主催する「エアラインリーダーサミットアジア」で、10月に新千歳空港内で開かれる。約30カ国から400人程度が参加する見通しで国内開催は初めて。

シンクタンク「CAPA」

HAPは新千歳空港の国際線の新規就航にもつなげたい考えだ。

CAPAは1990年に設立された。同サミットはアジアの航空業界の課題などを話し合うのが狙いで、10年ほど前からは毎年開催されている。アジア勢だけでなく、米国やカナダなど世界中からの参加もあった。

千歳での会議は10月1、2日に予定。影響力のある関係者が多く参加するため、道内への就航などを直接働きかける絶好の機会として、HAPが誘致し昨年11月、千歳での開催が決まった。

会場は国際線ターミナルビルのポルトムホール。業界の最新動向を知るセミナーや、テーマ別の討論会が行われる。空港の資金調達や管理をテーマに、投資家らを招いて交流するCAPAの別の会議も同時に開催する。

HAPとしては道、千歳市、札幌市に加え、新千歳以外の道内6空港の関係自治体との連携にも取り組む考えだ。

東アジアを中心に、今冬の新千歳空港の国際線便数は過去最高を更新したが、HAPはほかのエリアからの便数増なども目指している。担当者は「地域を挙げて呼び込む好機にしたい」と期待する。

元北電社長近藤龍夫氏死去

道経連、道観光機構会長も歴任



北海道電力（北海道倶楽部会員）の元社長で、北海道経済連合会の会長も務めた、近藤龍夫さん＝写真、北海道新聞社提供＝が昨年11月、死去した。80歳だった。原子力を重視する北電の経営路線を確固なものにした。

札幌市生まれ。北大工学部を卒業、1969年北電に入社。泊原発所長などを経て、2004年社長に就いた。09年に稼働した泊3号機の建設を進めたほか、オール電化の普及でも実績を残した。

08年、会長に就任すると、社外でも精力的に活動し道経連会長に就任。14年から2年間は、北海道観光振興機構（現・北海道観光機構）会長として「食と観光」を主軸とする経済活性化を説いた。

新入会員

維持会員

▼国立大学法人北海道大学（総長　寶金　清博氏）
登録会員　寶金　清博氏
小野　裕之氏

正会員

▼佐藤　守氏（日本アイ・ビー・エム株式会社　テクノロジー事業本部　理事）札幌市出身
▼寺下　史郎氏（株式会社アイ・アールジャパンホールディングス　代表取締役社長・CEO）北広島市出身
▼永田　武彦氏（株式会社北見ハッカ通商　会長）北見市出身
▼横田　浩氏（株式会社トクヤマ　代表取締役　社長執行役員）札幌市出身
▼渡　良司氏（公益財団法人紙の博物館　専務理事館長）新ひだか町出身

北海道新聞社の本

★増補版　留萌線の記憶
番匠克久　著　B5判　112頁　定価1760円
ありがとう留萌線！
2026年廃止の深川―石狩沼田間ほか、留萌線全線の沿線風景を美しいカラー写真で振り返った写真集です。留萌線の思い出が詰まった一冊。



★しまえながなるほどずかん
やまもとこういち　著　A5変型判　128頁　定価1980円
「シマエナガの郷」北海道・弟子屈町でとらえた決定的瞬間の数々。「ズアカエナガ」「チバエナガ」など国内外の仲間たちの素顔も紹介。

★私のくらし日記帳2026年度
北海道新聞社　編　A4判　68頁　定価770円
1週間で1ページ。毎日の体調や出来事を気軽に記録できる日記帳。「読書日記」「からだ・病院」「災害への備え」などの記録ページ付き。4月始まり。

新千歳旅客昨年2583万人

新千歳空港の2025年の旅客数（速報値）は前年比7.8％増の2583万6515人に上り、過去最多となったことが、北海道エアポート（HAP、千歳）のまとめで分かった。コロナ禍前の最多実績より100万人以上も多く、初めて2500万人の大台に乗った。訪日客（インバウンド）を中心とした旅行需要の回復が、旅客数を押し上げた。

これまでは19年の2459万4904人が最多。25年の旅客数は国内線が羽田線を筆頭に5.2％増の2149万3654人だった。

国際線は23・2％増の434万2861人。25年の訪日客数は4000万人を突破したが、北海道は旅行先として根強い人気があることを示している。

路線別では最多が韓国戦で13・7％増の184万3815人。次いで台湾線が13・4％増の88万7672人と続いた。関係が悪化する中国線も54・1％増の55万4507人と、前年実績を大きく上回った。

今冬もピークとなる1月の国際線便数は週約3100便に上り、コロナ禍前の19年度と比べ、約40％増えている。



Uターンラッシュで混雑する新千歳空港（北海道新聞社提供）

すっっ

寿都町のご紹介

「かぜのまち　寿都町」

観光スポット

○寿都温泉ゆべつのゆ

令和７年12月に30周年を迎えた寿都温泉ゆべつのゆは、血行を良くするとされる塩化物泉と美肌効果のある硫黄泉の２つの泉質が楽しめる天然温泉で、体が温まり、肌もすべすべになると評判です。

ゆったりとくつろげる大広間や食堂、地元の特産品を豊富に取りそろえた売店、隣接するコテージには大人数で宿泊することもできます。心身ともにリラックスする最高のリラクゼーションタイムを求めて、町内に限らず遠方からのお客さんにも利用されています。



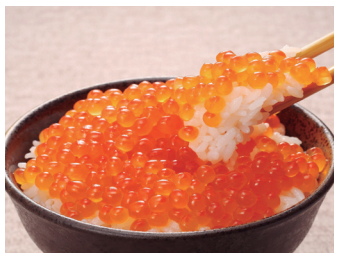


○道の駅みなとま～れ寿都

漁港に隣接した道の駅としても有名なみなとま～れ寿都は、寿都町の中心街にあり、一段高くなった館内から寿都湾を眺めながら、丁寧にハンドドリップするコーヒーやスイーツと共にゆったりとした時間を過ごしていただけます。



お土産にもぴったりな町内の水産加工会社やお菓子屋さんが作った地場産品も豊富に取りそろえています。





地場産食材を使ったオリジナルグルメも評判で、ブリのコンフィやほっけのかば焼き、うに丼など、食材を活かしたお食事をご用意しています。

○弁慶岬

義経・弁慶伝説では、奥州から逃れた義経一行は蝦夷地に渡りこの地に滞在し、援軍の報を聞いた弁慶は、岬の先端に立ち同志の到着を待ちわびていた・・・



援軍を待つ弁慶を再現した銅像が立つ弁慶岬は、毎年多くの方が立ち寄る休憩スポットで、写真愛好家の間では夕日のスポットとしても有名です。

弁慶像をかすめて落ちる太陽のはかなさは、さながらタイムマシン、悠久の歴史ロマンを感じさせてくれます。



○寺社仏閣

まちには14の寺院と９の神社が点在しています。

ニシン漁で栄華を極めた頃、豊漁や舟の安全を願い、夢を求めて出稼ぎに来た人々が遠い故郷を思う、そんなさまざまな願いや思いが込められ各地に神社仏閣が建てられました。

重要な文化遺産「寿都神社」や５つの寺院が立ち並ぶ寺町通りなど、歴史や文化を感じられる名所にもなっています。



（美谷稲荷神社）



（恵比寿神社）



（寿都神社）

○歴史的建物

ニシン漁で栄えた明治時代に建てられ、北海道有形文化財に指定されているカクジュウ佐藤家、国の史跡郡に認定されている橋本家（旧鰊御殿）が現存しており、栄華を誇った時代の貴重な資料が保管されています。



橋本家（旧鰊御殿）

寿都町へのアクセス

URL：http://www.suttu.lg.jp



札幌市から
約150km、車で約180分
小樽市から
約100km、車で約120分
函館市から
約140km、車で約170分
ニセコ町から
約60km、車で約60分
新千歳空港から（有料区間）
約180km、車で約150分

市町村から

寿都町は北海道の南西部、小樽と函館のほぼ中間に位置し、日本海に面した人口約2，600人、総面積約95平方キロメートル、半円を描いた豊かな海「寿都湾」の恵みを受け、湾を囲むように形成された集落が点在する港町です。

海の恵みをもたらした豊かさにより、縄文時代から人々が暮らしてきた遺跡が発掘され、江戸時代の記録にも地名が記されているなど、古くから栄えてきた痕跡が見受けられます。

ニシンを始め、サケ、マス、アワビやナマコなどの豊富な資源は、江戸の中期以降、北海道、東北、北陸、関西を繋いだ北前船で人と富を寿都町に運びました。

明治期には短い期間ではありましたが支庁が置かれるなど、重要な経済拠点であったことがうかがえます。

漁業で栄えてきた寿都町は、現在も漁業と水産加工業が主要産業で、新鮮な魚介類と、代々受け継がれてきた技法による水産加工品の数々が町民のみならず、日本全国で親しまれ食卓に並んでいます。

春の小女子漁でとれるしらす丼、ゴールデンウィークから7月にかけては屋外BBQにもピッタリな寿かき、秋には脂ののった秋鮭とホッケを焼き物に、冬にはお鍋で食べたいあんこうと四季を通じて寿都の海の幸を味わっていただけますので、ぜひ寿都町へおいでください。

○グルメ

・「寿かき」

寿かきは春の雪解け水が運んだミネラルが餌となったプランクトンでぷっくりと育ち、5月から7月にかけて旬をむかえます。寿都のきれいな海で育つため臭みが少なく、あっさり食べられると評判です。いまではBBQに欠かせないアイテムとなっています。



「寿都ホッケ飯」

アツアツの鉄板ご飯の上に寿都産ほっけのかば焼きと錦糸卵をのせた新ご当地グルメで、後からかけたタレが鉄板でジュッと響き、美味しい香りが届きます。すぐに食べてよし、少し待っておこげを楽しむのもよし、セットの旬のお刺身と小鉢、汁物もついてボリュームも十分です。



○イベント

・寿都御朱印めぐり

町に点在する神社仏閣のうち、８つの寺院と１つの神社を廻る寿都御朱印めぐりが行われています。御朱印をいただく時には、各社寺の雰囲気や伽藍に施された彫刻の美しさなどを感じていただけると思います。



めでたい町名としても有名な「寿の都（ことぶきのみやこ）寿都」にちなみ幸せと長生きを願うとともに、歴史文化を感じてみてください。

また、御朱印とスタンプを集めて特産品などが当たるラリーの開催もありますので、道の駅みなとま～れ寿都で販売中のオリジナル御朱印帳を手に街歩きを楽しんでみてはいかがでしょうか。

移住等について

○寿都町公式マスコットキャラクター「風太」

寿都町出身の漫画家　本庄　敬（ほんじょうけい）先生にデザインいただいたマスコットキャラクター風太くんは、風を体いっぱいに受け、髪をなびかせながら空を自由自在に飛び回るわんぱく坊主の風の妖精です。風のまち寿都の強風を受け、さらに元気にまちをPRしてくれています。オリジナルグッズは道の駅みなとま～れ寿都で取り扱っています。



○定住促進

町内中小企業の労働力確保を目的として、新規で従業員を雇用した企業に育成奨励資金を交付する労働者育成支援事業と、町内企業に６か月以上就職した新規就業者（U、Iターン）に対し、奨励金を交付するふるさと就職促進奨励交付金制度を設けています。

○風力発電施設

全国有数の強風地帯という特性を活かし、平成元年に全国で初めて自治体として風力発電を開始、現在は12基の風車が稼働しています。町のシンボルとして今日も風をエネルギーに変え、生み出された売電収入は産業振興や医療福祉の充実、環境保全など、「豊かなまちづくり」のために還元されています。





ふるさと納税

寿都町では、ふるさと応援寄付金をしていただいた方に感謝の気持ちを込めて、寿都町の特産品をお贈りしています。

お刺身ホタテやいくらの醤油漬け、海の恵みを活かした水産加工品、町内のお菓子屋さんが作った自慢の銘菓、季節限定のミョウバン不使用塩水うにやほっけの飯寿司など、幅広い特産品を取りそろえています。

詳細については、まちのホームページまたはふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」をご覧ください。

（担当　総務財政課総務係
☎０１３６－６２－２６２０）

ふるさと納税
QRコード



お礼の品の一例

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
寿都町役場　〒０４８－０４０６　北海道寿都郡寿都町字渡島町１４０番地１
ＴＥＬ：０１３６－６２－２６０２　ＦＡＸ：０１３６－６２－３４３１
E-mail：info@town.suttu.lg.jp
公式ホームページ：http://www.suttu.lg.jp

令和７年度定時会員総会議案　（一部抜粋）

令和７年度事業報告

令和７年１月１日から令和７年12月31日まで

種別	概要
1.キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1月24日	1月24日（金）18時　ホテルニューオータニ　会費1万5千円 立食形式にて、約70名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「地域活性化・ふるさと納税」「北海道新幹線早期実現」をテーマに新年交礼会を開催した。 川村隆会長は、停滞する北方領土返還運動について「きちんと運動を続けなければならない。倶楽部も12月に都内で行われたアピール行進に参加するなど、運動の中心になって頑張っている」とあいさつした。（次第、写真及び会報記事参照）
(2) 令和７年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日	当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により、2月7日の北方領土の日に東京・港区のニッショーホールで開催された。訪米中の石破茂首相はビデオメッセージで、領土返還を実現して平和条約の締結を目指すと改めて強調した。元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者５１０００人が参加し、倶楽部からも間瀬理事ら５人が参加した。
(3) 交流のタベ 8月4日	北海道倶楽部主催の「交流のタベ」が8月4日夜、東京・銀座で開かれた。 大久保尚武理事長は、「倶楽部は２年後に創設百周年を迎える。どんな形で祝うかを今、倶楽部で検討中だ。積極的な協力をお願いしたい」と呼びかけた。続いて大野哲弘北海道東京事務所長から祝辞をいただいた。この後、約６０人の参加者らは食事を楽しみながら懇談した。８年ぶりに銀座ライオン「ビヤホールの日」に合わせたサンバ隊が復活し、パーティを盛り上げた。（次第、写真及び会報記事参照）

-10-

種別	概要
(4) 交流イベント 10月14日 （旧道産子の会）	北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還運動推進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第５９回交流イベント」が10月14日夜、東京・千代田区のホテルニューオータニで開かれた。会員、会員外を含め約１３０人が参加した。 冒頭、大久保尚武理事長が北海道倶楽部への協力を呼びかけた。国土交通省の石川伸北海道局長、大野哲弘北海道東京事務所長のご祝辞の後、国会議員や自治体関係者らが紹介された。 乾杯後、パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）修了生の若手演奏家がイベント開始前と乾杯後のアトラクションで演奏し、参加者を魅了した。また、恒例の福引抽選会はイベントを盛り上げた。御協賛社は４７社に上った。会場の一角にはかつてビザなし交流で北方領土を訪れた会員らが撮った、数多くの写真が展示された。（次第、写真及び会報記事参照）
(5) 北方領土返還要求中央アピール行進 参加 12月1日	根室管内５市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」（北隣協）の主催。１９４５年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の１２月１日に毎年開催しており、今回で１８回目となった。 今年の行動には、根室管内出身者をはじめ、各都道府県の返還運動関係者ら約５００人が参加した。参加者らは京橋公園から常盤橋公園まで約２kmをデモ行進した。北海道倶楽部からも川村隆会長、有末真哉副理事長ら５人が参加した。
2.キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン	1）北海道"NOW"（情報紙・会報）に自治体紹介 地域振興等キャンペーンに資するため、平成28年３月号から北海道と協議し１号あたり２自治体の紹介を掲載しているが、今年度は檜山振興局、後志総合振興局の合計２１市町村を順次掲載した。 2）「北海道の市と町と村をご紹介 Vol. 7」WEB版発行 今年度の１年間に北海道"NOW"に掲載した檜山振興局、後志総合振興局の合計２１市町村を再録し、地域振興等キャンペーンに資するため、小冊子WEB版（８６頁）として１２月２６日付で発行し、倶楽部のHPに掲載した。 3）北海道"NOW"インフォメーションに掲載 地域振興等キャンペーンに資するため、北海道等が主催・共催・後援する事

-11-

種別	概要
	業を本年度は、下記の広報記事を掲載し広報した。 ・北海道東京事務所（大阪・関西万博でアイヌ文化発信、農業体験参加者募集） ・パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌公演 ・夕張市のふるさと納税、夕張Likers! ・北海道根室振興局 ・北海道総務部北方領土対策本部 4）夕張市振興へ協力 ８月の「交流のタベ」で夕張振興を訴え、「夕張メロン」を参加者にお土産として提供し、夕張市の「ふるさと納税」のパンフレットを配布するなどの支援イベントを行った。
(2) 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン	1）ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。 ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。（配布開始2010年１月） 配布バッジ数累計　48,760個（無料分を含む）（うち本年度配布2,191個） 収入総額8,063,373円（発注バッジ総数45,588個、発注総額4,556,322円） 2）千島桜バッジについて　「シンボルの花」 北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に努めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより2013年９月５日より千島桜バッジの頒布を開始した。 千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。（配布開始2013年９月） 配布バッジ数累計　4,426個（無料分を含む）（うち本年度配布116個） 収入総額870,580円（発注バッジ総数6,000個、発注総額574,646円） 3）「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」のCD配布 北方４島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記CDを、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。（送料込み千円）　累計482枚、本年度０枚（無料分を含む） 累計収入金額388,600円　本年度収入金額０円
(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン	1）北海道新幹線札幌駅延伸早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。 2）趣旨：北海道新幹線の札幌駅延伸をより早期に実現するためには、「日常

-12-

種別	概要
	会話に登場する北海道新幹線札幌駅延伸早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。 3）早期実現「新幹線」バッジについて 絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。２５mmサイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ－緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線札幌駅延伸早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。（配布開始2010年８月） 配布バッジ数累計　3,477個（無料分を含む）（うち本年度配布５個） 累計収入総額588,108円（発注バッジ総数6,000個、金額675,675円） （北海道新幹線（新青森－新函館北斗間）は、平成28年３月26日に開業。札幌延伸は平成２４年６月工事実施計画が認可され、当初の２０３０年度末開業予定から大幅に延期され、２０３８年度末になる見通し。）
3.キャンペーン推進のための調査研究事業 特別講演会	「ウクライナの今と今後の日ロ関係の行方」 北海道倶楽部主催の講演会は、５月２６日、東京・千代田区の「永田町ほっかいどうスクエア」で会員外を含め約４０人の聴衆を集めて開かれた。講師は北海道新聞東京支社編集局報道センター編集委員の渡辺玲男氏で、上記演題にて講演し、「停滞する日ロ関係については（現在中止されている）北方墓参の再開が糸口になる」と述べた。参加者は広く一般を対象とし、会報と倶楽部HPで告知をし、参加費は無料とした。
4.キャンペーン推進のためのメディア事業 (1) 北海道情報紙「北海道"NOW"」の配布	北海道情報紙「北海道"NOW"」の配布 本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第７９８号から第８０８号まで１０００部印刷し発行（毎月１日、ただし２月１日号は休刊） 会員以外への配布もおこなった。（北海道情報ラック）HPにも掲載している。WEB版としてHP上に掲載することにより、会員外も自由に無料でアクセスでき、様々な読者層にアピールすることができる。 前掲2.(1)-２）の通りWEB版発行。
(2)「北海道の市と町と村をご紹介」	１８カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット（「北海道"NOW"」の紹介頁の市町村などのもの）
(3) 北海道情報ラック設置	北海道情報紙「北海道"NOW"」などを毎月送付し、無償配布。

-13-

種別	概要
(4) 倶楽部ホームページ対応	倶楽部の公益事業の対外的広報のため、内容の更新に努めた。 イベント等の参加申込、終了報告、その他報告事項など更新を行った。
5.協賛・後援名義の付与など	1)「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」川村会長が顧問に就任中。 2) ふるさと会連合会「第２９回産直フェア」（代々木フェア） 3) ほっかいどう応援団会議参加中。 以上

-14-

損益計算書（正味財産増減計算書）

令和７年度損益計算書（正味財産増減計算書）　令和７年度　１月１日～１２月３１日

	公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人総計(会計)	前年度決算 令和6年12月31日	決算増減（令和7年－令和6年）
・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第5条) ・給料手当、法定福利費は従事割合（40%）により、法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合（40%）により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。					
一般正味財産増減の部					
経常増減の部					
（1）経常収益　［収入］					
受取会費					
（入会金）	20,000	20,000	40,000	35,000	5,000
（正会員会費収入）	832,500	832,500	1,665,000	1,785,000	△120,000
（維持会員会費収入）	1,980,000	1,980,000	3,960,000	4,110,000	△150,000
事業収入			0		
（広告収入）	888,000	0	888,000	2,188,000	△1,300,000
（交流、キャンペーン等収入）	2,240,490	1,688,207	3,928,697	4,211,349	△282,652
受取寄附金（寄附・協賛金）	2,605,000	0	2,605,000	2,576,000	29,000
受取利息	0	5,287	5,287	305	4,982
雑収入	1,188	12,602	13,790	40	13,750
経常収入計（収入高合計）	8,567,178	4,538,596	13,105,774	14,905,694	△1,799,920
（2）経常費用［事業費・管理費］	事業費	管理費			
給料手当	2,275,417	1,516,945	3,792,362	4,071,027	△278,665
諸謝金	20,000	0	20,000	15,000	5,000
法定福利費	28,234	18,822	47,056	51,107	△4,051
外注費	2,821,776	159,200	2,980,976	4,152,132	△1,171,156
印刷運賃	30,975	1,130	32,105	38,266	△6,161
会議費	38,500	39,000	77,500	88,000	△10,500
旅費交通費	233,393	18,926	252,319	417,824	△165,505
通信費	561,249	267,265	828,514	946,328	△117,814
会合費	1,687,257	1,491,521	3,178,778	3,599,457	△420,679
消耗品費	196,696	131,670	328,366	356,240	△27,874
修繕費	0	0	0	0	0
新聞図書費	83,920	0	83,920	137,740	△53,820
賃借料	111,670	74,446	186,116	168,304	17,812
諸費	332,634	96,079	428,713	684,032	△255,319
経常費用計（事業費・管理費計）	8,421,721	3,815,004	12,236,725	14,725,457	△2,488,732
	145,457	723,592	869,049	180,237	688,812
当期一般正味財産増減額（当期純損益金額）	145,457	723,592	869,049	180,237	688,812
※一般正味財産期首残高		※	3,930,407	3,750,170	180,237
一般正味財産期末残高			4,799,456	3,930,407	869,049
正味財産期末残高			4,799,456	3,930,407	869,049

※令和6年度決算の期末残高

-16-

貸借対照表

貸借対照表

（令和7年12月31日）　（単位円）

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	4,207,040	3,185,956	1,021,084
貯蔵品	40,011	33,273	6,738
キャンペーン品	768,373	687,676	80,697
未収入金	20,600	75,000	△54,400
仮払金	0	0	0
流動資産合計	5,036,024	3,981,905	1,054,119
2. 固定資産			
什器備品	3,000	3,000	0
固定資産合計	3,000	3,000	0
資産合計	5,039,024	3,984,905	1,054,119
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	46,140	42,185	3,955
仮受金	193,428	12,313	181,115
流動負債合計	239,568	54,498	185,070
2. 固定負債			
退職給与引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	239,568	54,498	185,070
III 正味財産の部			
一般正味財産（正味財産期末残高）	4,799,456	3,930,407	869,049
正味財産合計	4,799,456	3,930,407	869,049
負債および正味財産合計	5,039,024	3,984,905	1,054,119

○ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無いため、作成しない。

-17-

財産目録

財産目録　（令和7年12月31日）　（単位円）

科目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減
（流動資産）					
現金・預金		経常資金として	4,207,040	3,185,956	1,021,084
現金	現金手元有高		0	0	0
預金	普通預金 ネオ経営行政組合協同		1,876,455	470,005	1,406,450
預金	普通預金 北洋銀行事業支店		605,202	1,873,880	△1,268,678
預金	普通預金 北海道銀行事業支店		446,942	446,860	82
預金	定期預金 北洋銀行事業支店		200,000	200,000	0
預金	定期預金 北海道銀行事業支店		100,000	100,000	0
貯金	郵便振替預金		978,441	95,211	883,230
貯蔵品計		在庫として	40,011	33,273	6,738
切手	事務所保管		28,259	23,556	4,703
はがき	事務所保管		3,222	2,457	765
レターパック	事務所保管		5,530	4,260	1,270
金券（クオカード）			3,000	3,000	0
キャンペーン品計		在庫として	768,373	687,676	80,697
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		188,280	94,038	94,242
千島桜バッジ	事務所保管		200,133	213,133	△13,000
CD	事務所保管		86,360	86,360	0
新幹線バッジ	事務所保管		293,600	294,145	△545
未収入金			20,600	75,000	△54,400
仮払金			0	0	0
流動資産合計			5,036,024	3,981,905	1,054,119
（固定資産）					
什器備品計			3,000	3,000	0
給湯 西村印刷 「ハイアルバムセット」	事務所保管（会議室展示）		1,000	1,000	0
給湯 西村電気子（株）	事務所保管（会議室展示）		1,000	1,000	0
給湯 総務所長（株）	事務所保管（会議室展示）		1,000	1,000	0
電話加入権		備空価額	0	0	0
固定資産合計			3,000	3,000	0
資産合計			5,039,024	3,984,905	1,054,119
（流動負債）					
未払金			46,140	42,185	3,955
仮受金計			193,428	12,313	181,115
内 雇用保険			9,978	12,313	△2,335
流動負債合計			239,568	54,498	185,070
（固定負債）					
退職給付引当金			0	0	0
固定負債合計			0	0	0
負債合計			239,568	54,498	185,070
正味財産合計			4,799,456	3,930,407	869,049
負債および正味財産合計			5,039,024	3,984,905	1,054,119

○ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無いため、作成しない。

-18-

令和８年３月１１日に令和７年度定時会員総会を行います。詳細はホームページに掲載されております。
当日議案の一部を抜粋しています。
正会員と維持会員の皆様には令和７年度定時会員総会招集通知を発送しております。お手数ですが「令和７年度定時会員総会議案」をご参照いただき、同封のはがきにご記入の上ご返送をいただきますようお願いいたします。なお、当日ご欠席の方は事前の議決権行使をお願いいたします。

創設100周年記念事業へのご寄附のお願い

北海道倶楽部は　昭和２年（1927）に新渡戸稲造博士らにより創設され、令和９年（2027）に100周年という大きな節目を迎えることとなりました。戦中の休止期を経て昭和23年３月６日に再組織化され、平成26年（2014）１月６日に社団法人から公益社団法人となりました。この記念すべき年を迎えるにあたり、当法人では令和９年（2027）から「創設100周年記念事業」を実施し、これまでの活動の成果を振り返るとともに、次の100年へとつながる持続可能な公益活動の発展を目指しております。　つきましては、本記念事業の円滑な実施と、さらなる公益目的事業の充実を図るため、記念事業として公益充実資金を設け、広く皆様からのご寄附をお願いする運びとなりました。

■ **募集目標額　１億円**

■ **創設100周年記念事業の内容（予定、例）**
- 記念式典・記念誌発行　・歴史展示・記録アーカイブ化　・記念講演・シンポジウムの開催
- 新たな公益事業（例：人材支援、教育支援プログラムなど）
- 倶楽部の今後の公益目的事業費用の確保（理事会が決定した10年を超えない時までを目処に寄附は全て一度「公益充実資金」に積み立てたうえ、「公益充実資金」から取崩し使用します）

■ **ご寄附について**
- 寄附は「公益充実資金」に充当し上記創設100周年記念事業を含む倶楽部の公益目的事業費用に使わせていただきます。
- 寄附は、そのすべてを倶楽部の公益目的事業に使用するものとします。
- 寄附は「公益充実資金取扱規程」（倶楽部HP参照）を適用します。
- 金額：任意　（参考：法人一口　１０万円　個人　一口　１万円）
- 受付期間：令和８年１月１日 ～ 令和９年１２月３１日

■ **税制上の優遇措置について**
- 公益認定を受けた社団法人は、公益事業推進のため、各種の税制上の優遇措置が設けられています。
令和４年９月２６日に租税特別措置法施行令第26条の28の２第１項に規定する要件を満たすとして、内閣総理大臣より２回目の「税額控除に係わる証明書」を受けたため、所得控除制度と税額控除制度の選択が出来ます。

● **お申込方法**
- 倶楽部ホームページ（http://www.hokkaido-c.or.jp/_jump/寄付/寄付のお願い.html）に申込書がございますので、ご記入の上、ご連絡をお願いいたします。同じページに趣意書をPDFで載せております。詳細はそちらでご確認ください。
- 倶楽部より寄附申込書類の送付をご希望の方はメールかFAXにてお知らせください。

←こちらからもアクセスできます

※正会員の皆様、維持会員のご担当者には既に趣意書と申込書を郵送しております。別途、ご検討に必要な書類（定款、事業報告書、パンフレットなど）がご入用な場合は事務局（hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp）までご連絡をお願いいたします。

北洋銀チーム 大雪像製作を継承

来年に向け技術やノウハウを取得

「第76回さっぽろ雪まつり」は2月11日、多くの観客に感動を与え幕を閉じた。今年の雪まつりでは、大雪像製作に北洋銀行（北海道倶楽部会員）がプロジェクトチームを立ち上げて参加したという。陸上自衛隊が今回を最後に大雪像製作を2基から1基に減らすため、代わりに同行の行員らが来年に向け、技術やノウハウ取得に乗り出したのだ。北洋銀は経験者の元自衛隊員を新たに採用するなど、円滑な引き継ぎに全力を挙げている。（関連記事1面）

陸自の担当2基から1基へ 「代わりは私たちの手で」



大雪像製作現場でノウハウを学ぶ北洋銀のプロジェクトチーム＝1月14日、北海道新聞社提供

雪まつりの目玉、大雪像は毎年、メインの大通会場に通常5基造られる。これまで2基を担当していた陸自は、国際情勢の緊迫化による訓練時間の確保などを理由に昨年5月、1基に減らすことを主催者の札幌市に申し出た。

陸自に代わって大雪像製作を買って出たのが北洋銀。「雪まつりの規模縮小は観光にとってよくない」（津山博恒頭取）として、1基の製作に主体的に関わることを決めた。

同行内では昨年7月、早速、雪まつりに携わるプロジェクトチームが発足。メンバーは4人で、3人は新たに採用した元自衛隊員という。プロジェクトチーム以外の行員も参加、男女10人が手を挙げた。

雪まつり開催前の1月14日。大通公園5丁目会場では、普段はスーツ姿の行員らが、作業服やヘルメット姿で雪を削っていた。この経験は来年の本番で生かされるかどうか。

チームリーダーは「作業は想像以上に緻密で重労働。製作には多くの人が携わっていることを感じた」と、その難しさを話す。

陸自は大雪像の製作で、設計や雪の運搬などを含め、1基当たり延べ4000人を動員している。このため同行は今回の経験を踏まえ、他企業や団体との連携を模索。今後、具体的な製作体制を検討していく考えだ。

津山頭取は「基礎技術の習得に努め、成功に向けて全力を尽くしていきたい」と意欲を見せている。

縄文遺跡群で東京フォーラム 世界遺産登録4周年で

北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録から4周年を記念する「東京フォーラム」が1月25日、東京・有楽町の朝日ホールで開かれた。北海道、北東北などの貝塚を巡り講師らが講演、会場を埋めた縄文ファンらが熱心に聴き入った＝写真。



北海道、青森県、岩手県などで構成する縄文遺跡群世界遺産本部の主催。縄文遺跡群世界遺産協会の岡田康博会長が最新情報を報告した後、三内丸山遺跡センター（青森県）の斉藤慶吏さん、早稲田大非常勤講師の樋泉岳二さんが、北海道・北東北、関東の貝塚をテーマに講演した。

このうち斉藤さんは北海道、北東北の貝塚は「海獣の骨が多いのが特徴」と指摘。「貝塚内で）お墓も見つかっている」などと話した。

樋泉さんは全国一の数を誇る、関東地方の貝塚について「日本最古で大規模な貝塚が、神奈川県の横須賀市で発見されている。9000年以上前の土器も見つかり、カツオやマグロの骨のほか、釣り針も出てきた」などと説明した。

この日の入場者は縄文ファンが多く、熱心にメモをとりながら、縄文ロマンに思いをはせた。

講演後は3講師に加え、道縄文世界遺産推進室の村本周三さんも参加してパネルディスカッションが行われ、「貝塚からみえてくる縄文社会」をテーマに意見を交わした。

札響恒例の東京公演開催

首都圏のファンら1600人を魅了

札幌交響楽団（札響）恒例の東京公演が2月5日、東京・港区のサントリーホールで行われ、首都圏の札響ファンが透明感のある札響の演奏を楽しんだ。

この日演奏したのは、武満徹の「ア・ウェイ・ローンⅡ」、マーラーの「さすらう若人の歌」、リヒャルト・シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」の3作品。札響首席指揮者のエリアス・グランディさんが指揮をとった。

マーラーの演奏では、バリトンで世界的に名声のあるドイツ出身のベンヤミン・アップルさんが共演。会場には、柔らかな響きで魂のこもった歌声が響き、約1600人の聴衆を魅了した。

エリアス・グランディさんは昨年4月、首席指揮者に就任。アカデミー生として過去2回、札幌で開催されるPMF（パシフィックミュージック・フェスティバル）に参加したことも。24年には客演指揮者としてPMFオーケストラを指揮している。



札響と共演するバリトンのベンヤミン・アップルさん（©堀田力丸さん撮影）

栗山元日ハム監督野球殿堂へ

日本代表監督として世界一も 「これからも野球のため しっかり頑張ります」

野球殿堂博物館は1月15日、今年の野球殿堂入りに、だと、発表した。

栗山さんは、指導者としての実績も考慮する競技者表彰の「エキスパート表彰」で殿堂入りが決まった。

栗山さんは「これからの野球人のために、しっかり働きなさい、という賞だと思っている。感謝を忘れず、これからも野球のために精いっぱい頑張っていきたい」と話した。

東京都出身。1984年、ドラフト外で東京学芸大からヤクルトに入団し、89年に外野手でゴールデングラブ賞を受賞。7年間、現役生活を送った。2012年からは日ハムの監督に就任、同年パリーグを制覇、16年には日本一に輝いた。

その後、日本代表監督に就き、米大リーグ・エンゼルス（当時）の大谷翔平選手らを率いて、3大会ぶりに世界一を達成した。現在は日ハムのチーフ・ベースボール・オフィサー（CBO）。



WBC優勝を祝い栗山町内でパレードに参加する栗山さん＝2023年6月、北海道新聞社提供

北斗声

▼自民党が圧勝した衆院選から間もなく1カ月がたつ。こういうのを「ランドスライド・ビクトリー」（地滑り的大勝利）というのだろう。高市人気を見せつけられて、唖然とする以外になかった。

▼自民党だけで過半数を優に超える316議席。大学同期生の元西日本新聞論説委員が、こんなメールを送ってきた。「日本人の有権者意識と自分の意識が、大分乖離していることを思い知らされました。頭が混乱しています」

▼勝因はメディアで言い尽くされているので、今後の政権運営に注文したい。民主主義を標榜している以上、野党とも熟議し「数の力」に頼らない姿勢をーということだ。党名に「自由」と「民主」を掲げているのだから…。

▼さて、ミラノ・コルティナ冬季五輪である。道産子をはじめとする日本人選手の活躍に、毎日テレビの前で声を張り上げた。

▼スキージャンプの混合団体で、銅メダルに輝いた高梨沙羅選手（上川町出身）。北京冬季五輪の違反の呪縛からやっと解放された。仲間と抱き合う彼女の姿に涙腺が緩んだのは、筆者だけではないだろう。

▼強者の論理がまかり通る2026年の世界。純粋に感動できるスポーツは、素晴らしい！（北）

きもべつ 喜茂別町のご紹介

羊蹄山の麓、農業と自然、そして人の営みが息づくまち 喜茂別町

観光スポット

喜茂別町は、北海道の中央南西部、後志（しりべし）管内の東南部に位置し、札幌市と洞爺湖町を結ぶ国道230号線と、苫小牧市と倶知安町を結ぶ国道276号線が町内で交差する交通の要衝です。東西24・3㎞、南北18・8㎞の町域を持ち、総面積は189・51㎢に及びます。その約77・0％を林野が占める自然豊かな山間農業地域であり、山々と河川に囲まれた地形が、喜茂別町ならではの景観と暮らしを形づくっています。



○羊蹄山（ようていざん）

町の象徴である羊蹄山は、標高1，898ｍの成層火山で、日本百名山の一つに数えられています。端正な円錐形の山容から「蝦夷富士（えぞふじ）」とも称され、後志地域を代表するランドマークです。

喜茂別町から望む羊蹄山は、裾野が大きく広がり、山の雄大さを間近に感じられる点が特徴です。春は残雪と新緑のコントラスト、夏は深い緑に包まれた姿、秋は紅葉、冬は白銀の世界と、四季折々に異なる表情を見せ、訪れる人々に強い印象を残します。登山者だけでなく、写真撮影やドライブを目的とした来訪者も多く、町の観光資源の核となっています。

また、中里ビューポイントパーキング（牧場タカラ）から望む羊蹄山は、前方に位置する尻別岳と「双子羊蹄」と称され、喜茂別町でしか見ることができない唯一の眺望です。



○道の駅 望羊中山

国道230号線沿い、中山峠（なかやまとうげ）に位置する「道の駅 望羊中山（ぼうようなかやま）」は、喜茂別町を代表する観光拠点です。名前のとおり羊蹄山を望む展望スペースからは、雄大な自然景観を楽しむことができ、ドライバーや観光客の休憩地点として広く利用されています。



館内の売店では、町内をはじめとする後志地域の農産物や加工品が販売され、地域の食の魅力を発信しています。食事処では、地元食材を使用したメニューが提供され、観光と食を同時に楽しめる施設として親しまれています。

○中山峠名物「あげいも」

北海道を代表するドライブスポット、中山峠の名物として全国的に知られているのが、「峠のあげいも」です。じゃがいもを丸ごと使った「あげいも」は、峠を行き交うドライバーや観光客にとって定番グルメとなっています。



「あげいも」の歴史は古く、昭和時代に地元有志によって考案され、中山峠の休憩地点で提供されるようになりました。素朴でありながら満足感のある味わいは瞬く間に評判となり、今では年間30万本以上が販売される人気商品となりました。

長距離ドライブで冷えた身体を温める一品として、また地元のジャガイモの美味しさをストレートに味わえる郷土食として幅広い世代に支持されています。また、文化的価値を評価され、文化庁の「100年フード」にも認定されております。

○郷の駅 ホッときもべつ

「郷の駅 ホッときもべつ」は、町内で生産された農産物や加工品の販売所や飲食テナントを有する観光施設です。生産者が丹精込めて育てた野菜や特産品が並び、消費者と生産者をつなぐ交流の場としての役割も担っています。季節ごとの旬の味覚に出会えることから、観光客のみならず地域住民にも親しまれております。

また、飲食コーナーでは、喜茂別町の農業と暮らしを身近に感じられます。

○尻別川・喜茂別川周辺の自然

町内を流れる尻別川本流と支流の喜茂別川は、町の自然環境を象徴する存在です。両河川の合流付近には沖積平野が広がり、市街地や良好な農耕地が形成されています。川沿いの穏やかな風景と周囲の山々が織りなす景観は、喜茂別町ならではの落ち着いた雰囲気を生み出しており、散策やドライブを通じて自然の豊かさを感じることができます。



○シーニックバイウェイ ビューポイント

喜茂別町を通過する国道230号線は、シーニックバイウェイに指定されており、沿線には相川ビューポイントパーキングがあります。ビューポイントパーキングからの眺望を守るため、町内の団体によって草刈りやゴミ拾いが行われています。

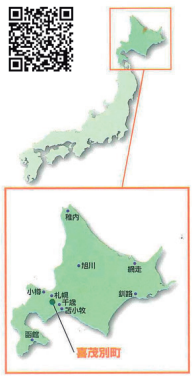
相川ビューポイントパーキングから望む羊蹄山の雄姿、広がる田園風景、なだらかな丘陵と山並みは、北海道ならではのスケール感あふれる景観を楽しませてくれます。まっすぐに伸びる道路の先の羊蹄山は、春夏秋冬、さらには朝夕や天候によっても表情が変わり、同じ道を何度走っても新たな発見があります。移動そのものが観光体験となるドライブコースとして、多くの人に親しまれています。



喜茂別町へのアクセス

URL：https://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/town/detail.php?content=115





市町村から

喜茂別町は、羊蹄山の麓に広がる自然環境と、農業を基盤とした暮らしが息づくまちです。国道230号線と国道276号線が交差し後志地域と胆振地域を結ぶ交通の要衝として重要な役割を果たしてきました。

周辺にはスノーリゾートを有する町村がある一方で、喜茂別町内には田園風景が広がり、自然と人の営みが調和した落ち着いた生活環境が保たれています。

○アスパラガス本格栽培発祥の地

喜茂別町は、北海道においてアスパラガスの本格的な栽培が始まった地として広く知られています。冷涼な気候と水はけの良い土壌条件を生かし、早くからアスパラガス栽培に取り組んできました。長年にわたり培われた栽培技術は現在も受け継がれており、品質の高いアスパラガスは町を代表する特産品となっています。


（特産品のアスパラガス）

また、基幹作物であるじゃがいも、てん菜、豆類を中心に、ブロッコリー、トマト、メロンなど多様な作物の生産にも取り組み、農業の振興と地域経済の発展を支えています。

○きもべつ夏まつり

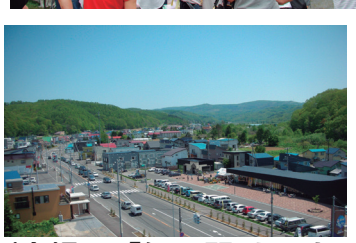
町の夏を彩る恒例行事として、毎年お盆前の土日に「きもべつ夏まつり」が開催されています。



地域住民はもとより、帰省者や来訪者も参加し、世代を超えた交流が生まれるイベントです。会場ではステージイベントや町内外の団体による出店やさまざまな催しが行われ、町のにぎわい創出と地域の一体感の醸成につながっています。

○郷の駅ホッときもべつを活用したイベント（しりべし結愛フェア）

国道230号線と国道276号線が交差する喜茂別町の「郷の駅ホッときもべつ」を会場に、春と秋の年2回「しりべし結愛（ゆうあい）フェア」が開催されています。


（会場の「郷の駅 ホッときもべつ」）

イベントでは、喜茂別町を中心に後志管内の町や観光協会および事業者が、自慢の特産品を販売しています。

○町のイメージキャラクター『ウサパラくん』

ウサパラくんは喜茂別産のアスパラガスの耳を持つ、ウサギに似た生きもので、喜茂別町のどこかに住んでいます。

右耳はグリーン、左耳がホワイトのアスパラガスでできています。



移住等について

喜茂別町は、定住人口の増加を図り、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるため、定住促進の取組を行っています。「喜茂別町定住促進基本条例」に基づき、移住・定住希望者が安心して新たな生活を始められるよう、生活、仕事、住まい、子育ての各分野で支援制度を整えています。

○新規就業促進事業

町内で新たに起業又は新たな事業を行うため、事業開始時に必要となる経費の一部を補助する制度を設けています。地域産業の担い手確保と雇用創出を目的とし、町内での安定した就労や事業展開を後押ししています。

・補助額等　開業時に必要とする経費の2分の1以内　上限250万円

○高校通学費補助事業

羊蹄山麓町村に所在する高等学校へ通学する生徒の保護者を対象に、通学に要する費用の一部を補助しています。教育環境の選択肢を広げるとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図っています。

・補助額等　バス定期券の2分の1以内。（第2子以降は全額）

○民間賃貸住宅家賃助成事業、住宅取得促進補助事業・住宅リフォーム支援補助事業

定住を促進するため、民間賃貸住宅に入居する世帯への家賃助成制度や、住宅の新築や取得、既存住宅のリフォームに対する支援を行い、住まいの確保を多角的に支援しています。

・民間賃貸住宅家賃助成事業の補助額等　家賃の月額から2万円を控除した額の2分の1以内。上限2万円。

○子育て応援お祝い事業

子の保護者に対して、子どもの誕生や成長の節目を祝う支援を実施し、安心して子育てができる環境づくりを進めています。

・令和2年4月以降に出生したお子さんの保護者の方へ、お祝い金・記念品をお渡ししております。また、令和3年4月小学校入学の学年から、小学校入学時にお祝い品をお渡ししております。

ふるさと納税

喜茂別町のふるさと納税は、町の将来を見据えたまちづくりを支える重要な財源として活用されています。寄附金は、次世代を担う人々に対する事業、環境の整備に関する事業、まちづくり推進のための事業、地域経済の発展のための事業、子どもの教育の充実に関する事業、子育て支援体制の充実に関する事業、その他町長が認める事業に充てられています。

町内のクレードル興農で生産されているコーン缶は、年間を通じて一番人気の返礼品です。喜茂別町をはじめ周辺の市町村で育てられたとうもろこしを使用し、素材本来の甘さと風味を生かして丁寧に加工されています。保存性と使いやすさに優れ、家庭料理はもちろん、贈答用としても高い評価を得ています。

また、アスパラガスやメロン、トマトやじゃがいもなどの羊蹄山麓で育った新鮮な農作物や、喜茂別町で育った豚肉などの返礼品も人気です。ふるさと納税を通じて、町の農業の魅力と生産者の想いが全国に届けられています。



※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ　喜茂別町役場
〒044－0292　北海道虻田郡喜茂別町字喜茂別123番地
TEL：0136－33－2211　FAX：0136－33－3577
E-mail：machi@town.kimobetsu.lg.jp
公式ホームページ：https://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/